

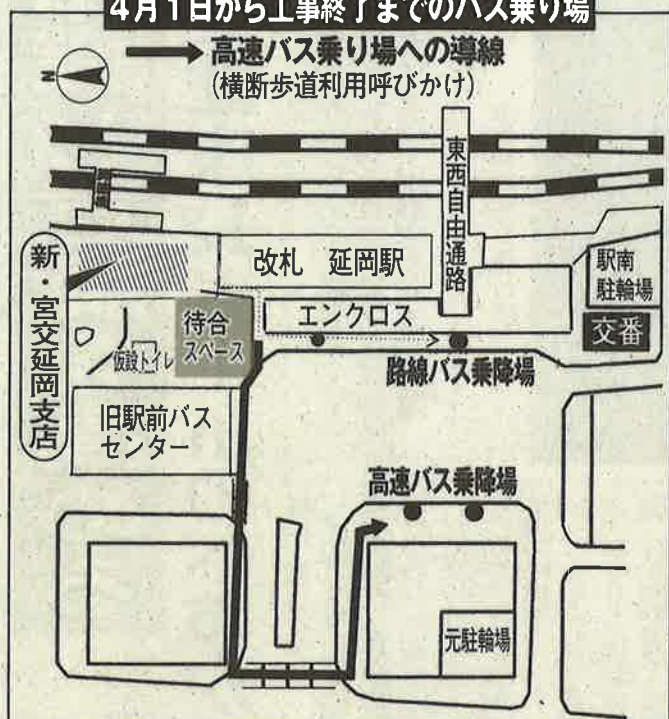
宮交延岡支店が完成

延岡駅前 4月1日から営業

延岡市の延岡駅前周辺（菊池克頼社長）が駅整備事業に伴い、宮崎交（舎の北隣に建設していた）延岡支店の建物が完成し、4月1日から営業を始めた。同支店は延岡駅前ハ（今月末で終え、4月1日



外壁の上部が空色に塗られた新・宮交延岡支店



から新しい建物に移る。新延岡支店は木造平屋建て、建築面積154平方メートル、敷地面積167平方メートル。外壁は上が空色、下が木目のツートンカラー。設計は猪股浩介建築設計（宮崎市）、施工は不

二建設（延岡市）。バス窓口は年中無休で午前7時から午後5時30分までバス乗車券の販売（定期券販売は午前9時から）、交通系ICカードのチャージなどを行う。旅行窓口は日曜休みで午前9時30分から午後5時30分まで、国内外の旅行、貸し切りバスなどの申し込みを受け付ける。宮交タクシー延岡営業所は今月19日に平原町に移ったが、駅前で2台が待機する。

菊池社長は「延岡が宮崎県の北の中心としてハブ機能を発揮するため、当社が一助となればうれしい」と話した。延岡支店の移転後、駅前バスセンターは昭和51年に建設されてから42年の歴史に幕を閉じ、解体される。跡地は駅前ロータリーの一部になり、高速・特急バス乗り場（高千穂線を含む）が設けられる。

竣工（しゅんこう）式はきよう、新支店の隣にテントを張って行われ、交通関係者や駅前複合施設エンクロスの関係者、地域住民ら約50人が出席。今山大師の野中玄雄住職が導師を務め、出席者が献花、献香して事業発展や交通安全を祈った。

バスセンターの解体工事に伴い、4月1日から、高速バスなどの乗り場は「高田万十」のある区画の駅側に移る。路線バスの乗り場はエンクロス前に移る。

TOWN



ストラックアウトで遊ぶ子ども

旭化成東海地区工場で観桜会

ライトアップで夜桜も

延岡市水尻町の旭化成延岡支社東海地区工場...

今年当初、4月1日を予定していたが、連日の暖かきで開花が...



桜をバックに家族で記念撮影(26日、旭化成東海地区工場)

桜満開 花の下で笑顔咲く



桜と菜の花を楽しみながら日之影町のセラピーロードを歩く参加者(25日)

旭化成高機能マテリアルズなどの溝上秀晃部長は「老木も増えてきたので桜の植え替えも...



花見行事を楽しむ子育てサロンの親子たち(26日、鶴ヶ丘児童公園)

花見で楽しい交流

延岡市恒富南地区社会福祉協議会(坂本保男会長)の「子育てサロン」...

家族を中心に地区内外の広い地域から参加。鶴ヶ丘区の協力で地元...

子育てサロンは、親子がさまざまな行事で交流し、親同士が子育ての情報交換や相談ができる...

パン食い競争は手作りのあんパンを目指して親子で大歓声。お昼には弁当を分け、和やかに会食した。

桜と菜の花が競演

日之影町で桜ウオーキング

森林セラピー基地に認定されている日之影町のセラピーロードを歩く「桜ウオーキングinひのかげ」が25日...

セラピー基地の魅力発信しようと、町森林セラピー推進協議会(会長・佐藤貴町長)...

この日は絶好のウオーキング日和。参加者は駅近くの広場に集まり、開会式で十分に体をほぐした後、セラピーガイド「癒(いや)」...